

# 改めてリスク・コミュニケーションのあり方を問う

## — 食品と放射能の問題から探る —

東京電力福島第一原子力発電所の事故をきっかけに、食品と放射能の問題が取沙汰されています。食品の安全性をめぐり、内閣府食品安全委員会やさまざまな機関等から報告書やデータが出ていますが、報告書やデータに示される情報や数字のどこを押さえ、正しく読み解くかは食品業者にとっても非常に困難です。ましてや、その情報を消費者や取引先に正確に伝えるとなると…。食の「安全性」を訴えても消費者が「安心」できない現状に、食品業界はどう向き合ったらよいのでしょうか？

食品と放射能の問題から、改めてリスク・コミュニケーションのあり方を問います。

日時：平成23年12月12日(月) 13時00分～16時40分(受付開始:12時30分)

会場：東京八重洲ホール・B2ホール(東京都中央区日本橋3-4-13) ※地図裏面

JR線「東京駅」八重洲中央口徒歩3分

東京メトロ銀座線「日本橋駅」・「京橋駅」徒歩3分、東西線「日本橋駅」徒歩7分 ほか

受講料：1万円(税込み) ※食品製造・品質研究会 会員/食品産業文化振興会 会員は3名様まで無料

第1部：講演 [13:00～13:30]

テーマ「リスクと情報提供」

講師：日本食糧新聞社 行政取材局長 伊藤哲朗

◆◆◆ 休憩(10分間) ◆◆◆

第2部：講演 [13:40～14:40]

テーマ「食の安全と安心のギャップはなぜ生じ、どう立ち向かうか」

講師：NPO 法人 食品保健科学情報交流協議会 理事長 関澤 純氏

◆◆◆ 休憩(10分間) ◆◆◆

第3部：講演 [14:50～15:50]

テーマ「リスク・コミュニケーションのあり方を探る」

講師：消費生活コンサルタント 森田満樹氏

◆◆◆ 休憩(10分間) ◆◆◆

第4部：Q & Aセッション [16:00～16:40] \* 受講者からの質問・疑問を取り上げます。

コメンテーター：NPO 法人 食品保健科学情報交流協議会 関澤 純氏

消費生活コンサルタント 森田満樹氏

主催 日本食糧新聞社 食品製造・品質研究会

事務局担当：中山・合志(ゴウシ)・伊藤 TEL03-3432-4664 携帯 090・3146・7995

セミナー情報 : <http://www.nissyoku.co.jp/seminar/>

# 食品製造・品質研究会 12月12日 申込書

FAXで **03-3459-4654** までお申込み下さい。

平成23年 月 日

会社名	
〒 住所	
電話	FAX
部署／お役職	お名前

- ※ ご希望に○をお付けください。( 請求書希望 ・ 当日現金払希望 )
- ※ お申込み後、請求書と会場のご案内をお送りします。
- ※ 受講票は発行しておりません。当日はお名刺をお持ちください。

## 【第3部 Q&Aセッション用 質問記入欄】

消費者や取引先とのリスク・コミュニケーションをめぐる質問や疑問をご自由にご記入ください。(複数歓迎)  
第4部で取り上げ、講師にコメントしていただきます(質問者の会社名やお名前は明かしません)。是非ご協力ください。

--

## 【会場】東京八重洲ホール

東京都中央区日本橋3-4-13  
TEL:03-3201-3631  
<http://yaesuhall.co.jp/accessmap/>

- JR「東京駅」八重洲中央口より徒歩3分
- 東京メトロ  
銀座線「日本橋駅」・「京橋駅」徒歩3分  
東西線「日本橋駅」より徒歩7分

ほか

